

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズクラブ Little by little (児童発達支援)		公表日	令和7年 2月 20日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・活動に応じて、活動スペースを確保するようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・活動内容や利用人数に応じて人員の調整を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日、職員が清掃を行うことや、清掃活動を取り入れることで清潔な状態を心掛けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別で取り組める部屋を準備することやパーティションを活用するようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・毎朝のミーティング時に必要事項については確認を行うようにしている。また、必要に応じて会議の開催を行う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者からの意見が少なかったが、ご意見いただいた点は、職員会で話し合い、改善に努めている。	・昨年、いただいた意見に対しての改善が行えていない部分がある為、早期に改善に努めたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎朝の朝礼時に必要事項については確認を行うようにしている。また、必要に応じて会議の開催を行う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者委員会は設置していない。	・現在、第三者による外部評価は実施していない。今後、必要性を検討して体制を考えて行く予定にしている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・外部研修には参加するようにしている。 ・研修に参加した際は、研修内容を職員間で共有するようにしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムをHPで掲載している。 ・保護者との面談時に公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・日々の様子や保護者の意向、相談支援事業所の情報を密に確認し、ニーズや課題を汲み取り作成するよう心掛けている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・個別支援会議を開催し、職員全員で意見交換を行い、作成するようにしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・朝のミーティングや職員間で支援内容を確認するようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・保護者や相談員の方から頂いた情報と日々の活動から把握、確認を行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・全利用者の支援計画に5領域を取り入れて作成を行っている。その他の支援内容に関しては、家族の意向を確認するなどして支援内容に設定するようにしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・職員会を通して、担当者によるプログラムの立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・毎日、朝のミーティング時に活動プログラムの確認を行うようにしている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・その日の利用者に対して、個別活動、集団活動を考えるように配慮している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼を行い、前日の支援の振り返りや反省点を確認するようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・朝礼を行い、前日の支援の振り返りや反省点を確認するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・活動に参加した職員が活動の取り組み状況や利用者の様子を日誌に記録するようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・6か月以内のモニタリングを徹底している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・主に担当職員と児童発達支援管理責任者で参画するようにしているが、他の職員とも参加するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・保護者に許可をいただき、保育園、幼稚園とは、送迎時に情報共有を行う等連携を取れるような関係性が築けるように心掛けてい	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・幼稚園、保育園など籍園との併行通園の場合は、利用時間や曜日の調整を行うようにしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・幼稚園、保育園など籍園との併行通園の場合は、利用時間や曜日の調整を行うようにしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			・参加できる際は、参加を希望しているが、人員配置の問題で参加が難しい。今後、参加できるような体制を検討していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			・現在、行っていない。必要に応じて職員間で話し合い、検討していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			・日々の送迎時に利用者の情報共有を行うようにしている。また、連絡帳アプリを活用し、活動内容や課題について伝えるようにし
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			・今後、保護者の方の要望を聞きながら職員で研修を行うことや情報交換の機会を検討していきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			・面談にて説明を行っている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			・保護者の方と日程調整を行い、面談日を設け、情報共有を行うことや利用者や保護者の意向を確認している。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			・対面にて、計画書の説明を行い、同意を得ている。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			・6か月以内に面談日を設けている。その他、相談や困りごとがある際は、適宜面談や電話連絡を行うようにしている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		・現在、保護者会は設けておらず、必要に応じて検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・相談や申し入れがあった場合、面談日を設けることや電話にて対応するように努めている。苦情受付は、重要事項に記載し、契約時に説明を行っている。	・現在、苦情などの問い合わせもないが、今後あった際は、迅速に対応ができるよう研修などへの参加を検討する。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・利用時には連絡帳アプリを活用し、その日の様子を保護者に伝えるようにしている。保護者に確認を行い、定期的にSNSにて活動内容を掲載している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報が記載された書類の保管は鍵付きのロッカーにて保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・視覚支援カードを活用し、伝達方法を工夫することや伝達方法を保護者と共有するようにしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			・現在、地域活動への取り組みは行っておらず、今後、必要に応じて検討していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・事故・災害・感染症マニュアルを会議などで確認を行っている。 ・2カ月に一回、さまざまな災害に対する避難訓練を行っている。	・各種マニュアルを保護者に周知出来ていない部分もある為、今後、周知を徹底していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPは策定しており、2カ月に1回の避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			・現在、服薬、予防接種、てんかん発作の利用者がいないが、必要に応じて保護者と相談、対応して行く。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・食事提供は行ってないが、利用開始時に保護者の方にアレルギーの有無の確認を行うようにしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を適切に活用するように定期的に見直しを行っている。	・現在、研修への参加が出来ていないので、研修などの参加を計画していきたい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・緊急時の連絡先を確認する等、常に連絡が取れるようにしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットな事例があった際は、報告書に記載し、職員会で情報共有を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・外部研修に参加し、研修内容を事業内研修にて共有するようにしている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・外部研修に参加し、研修内容を事業内研修にて共有するようにしているが、現在、身体拘束を必要としている利用者はいない。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズクラブ Little by little(放課後等デイ)		公表日		令和 7年 2月 20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・活動内容に応じて、活動スペースを確保するようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・活動内容や利用人数に応じて人員の調整を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・トイレなどは身長に合わせて踏み台を設置し、調整できるようにしている。	・今後、必要に応じてバリアフリー化などの検討していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日、職員が清掃活動を行い、チェック表で確認している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別で取り組める部屋を準備することやパーテーションを活用するようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・毎朝のミーティング時に必要事項については確認を行うようにしている。また、必要に応じて会議の開催を行う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者からの意見は少なかったが、ご意見いただいた点は、職員会を行い、改善に努める。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎朝、ミーティングを行い、情報共有を行っている。	・報告漏れなども発生している為、情報共有方法で改善できる部分は改善に努めて行く。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者による外部評価は行っていない。	・今後、必要に応じて検討していく。
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・外部研修などがある際は、参加するようにしている。・研修に参加した際は、職員間で情報共有を行っている。	・人員配置の関係上、参加が難しい場合もある為、改善に努める。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・HPにて支援プログラムを掲載している。 ・面談時に公表している。	・適宜、修正など行い、個々の利用者に対応できるものになりたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・日々の様子や保護者の意向、相談支援事業所の情報を密に確認し、ニーズや課題を汲み取り作成するように心掛けている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・個別支援会議を開催し、職員間で意見を交換し、作成するようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・朝のミーティングや職員会議で支援内容を確認するようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・保護者や相談員の方から頂いた情報と日々の活動から把握、確認を行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・全利用者の支援計画に5領域を取り入れて作成を行っている。その他の支援内容に関しては、家族の意向を確認するなどして、支援内容を設定するようにしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・職員会を通して、担当者によるプログラムの立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・毎朝のミーティング時に活動プログラムの確認を行うように徹底している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・その日の利用者を把握し、個別活動や集団活動などを考えるようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝のミーティングを徹底し、前日の活動の振り返りを行うことや反省点を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・朝のミーティングを徹底し、前日の活動の振り返りを行うことや反省点を確認している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・活動に参加した職員が活動の取り組み状況や利用者様を日誌に記録するようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・6か月以内のモニタリングを徹底している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		・ガイドラインに沿った内容で社会生活を見据えた支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・日々の活動に加え、自由に過ごす時間を設けるようにしている。また利用者の取り組みたい活動内容を確認するようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・主に担当職員と児童発達支援管理責任者で参画するようにしているが、他の職員も参加が可能であれば参加する世にしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・契約時にかかりつけの医療機関名や電話番号を確認するようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・小学校とは、保護者に許可をいただき、送迎時に情報共有を行うように心掛けている。	・学校によっては、あまり情報共有が出来ていない場所もある為、今後改善していきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・施設間での情報共有はないが、保護者からの支援内容や様子などを確認するようにしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・現在、放課後等デイから障害福祉サービスへの移行はありません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			・参加できる際は、参加するようにしているが、人員配置や時間帯などで参加出来ないことが多い。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・現在は行っていない。	・必要に応じて今後検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			・現在、参加することは、出来ていない。今後は参加していくように改善に努めていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・日々の送迎時に利用者の情報共有を行うようにしている。また、連絡帳アプリを活用し、活動内容や課題について報告している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			・今後、保護者からの要望に応じて検討していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・面談日を設け、対面にて説明するようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者の方と面談日を設け、情報共有を行うことや利用者の移行を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・対面にて計画書の説明を行い、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・6か月以内に面談日を設けている。その他、相談や困りごとがある際は、適宜面談や電話連絡を行うようにしている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・現在、行っていない。	・今後、必要に応じて検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	・現在、苦情等はないが、保護者からの意見や要望については、その都度対応するようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○	・利用時には連絡帳アプリを活用し、様子を報告している。保護者に確認を行い、定期的にSNSにて活動の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	・個人情報に記載された書類は、鍵付きのロッカーにて保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	・視覚支援カードを活用し、伝達方法を工夫することや伝達方法を保護者と共有するようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・現在、地域活動への取り組みは行っておらず今後、必要に応じて検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	・事故・災害・感染症マニュアルを会議などで確認を行っている。 ・2カ月に一度、避難訓練を行っている。	・各種マニュアルが保護者に周知出来ていない部分もあるので周知を徹底して行きたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	・BCPは策定しており、2カ月に一回の避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○		・現在、服薬、予防接種などを必要とする利用者はいないが、今後は必要に応じ、利用者の保護者と相談していく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	・食事提供は行っていないが、利用開始時にアレルギーの有無の確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	・安全計画を適切に活用するように定期的に見直しを行っている。	・現在、研修等の参加が出来ていない為、研修への参加を計画していく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	・普段の連絡先とは別に緊急時用の連絡先を確認している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	・ヒヤリハットな事例があった際は、報告書に記載し、職員会で情報共有を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	・外部研修に参加し、研修内容を事業所内研修内にて共有している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	・外部研修に参加し、研修内容を事業所内研修内にて共有している。		